

＜カレンダーベース市中発行額＞

区分	21年度(当初)		21年度(4月変更後)		(b) - (a)	
	(a)		(b)			
40年債	0.2兆円	× 4回	0.8兆円	0.2兆円 × 1回 0.3兆円 × 3回	1.1兆円	+ 0.3兆円
30年債	0.5兆円	× 6回	3.0兆円	0.5兆円 × 2回 0.6兆円 × 4回	3.4兆円	+ 0.4兆円
20年債	0.9兆円	× 12回	10.8兆円	0.9兆円 × 3回 1.1兆円 × 9回	12.6兆円	+ 1.8兆円
10年債	1.9兆円	× 12回	22.8兆円	1.9兆円 × 3回 2.1兆円 × 9回	24.6兆円	+ 1.8兆円
5年債	2.0兆円	× 12回	24.0兆円	2.0兆円 × 3回 2.3兆円 × 9回	26.7兆円	+ 2.7兆円
2年債	2.0兆円	× 12回	24.0兆円	2.0兆円 × 3回 2.4兆円 × 9回	27.6兆円	+ 3.6兆円
1年 割引短期国債	1.9兆円	× 12回	22.8兆円	1.9兆円 × 3回 2.3兆円 × 9回	26.4兆円	+ 3.6兆円
6ヶ月 割引短期国債			0.9兆円		0.9兆円	—
15年変動利付債	0.3兆円	× 1回	0.3兆円	0.3兆円 × 1回	0.3兆円	—
10年物価連動債	0.3兆円	× 1回	0.3兆円	0.3兆円 × 1回	0.3兆円	—
流動性供給入札	0.15兆円	× 24回	3.6兆円	0.15兆円 × 6回 0.3兆円 × 18回	6.3兆円	+ 2.7兆円
計	113.3兆円		130.2兆円		+ 16.9兆円	

上記に加えて、40年債、30年債、20年債、10年債、5年債、2年債、15年変動利付債及び10年物価連動債については、価格(利回り)競争入札後に実施される国債市場(注1) 特別参加者向けの第Ⅱ非価格競争入札による発行が行われる(価格競争入札及び第Ⅰ非価格競争入札又は利回り競争入札における各国債市場特別参加者の落札額の15%を上限)。

(注2) カレンダーベース市中発行額とは、あらかじめ定期的に額を定めた入札により発行する国債の、4月から翌年3月までの発行予定額の総額をいう。

(注3) 平成21年2月から割引短期国債と政府短期証券の統合発行(国庫短期証券)を実施しているため、6ヶ月割引短期国債については総額のみを計上。

(注4) 15年変動利付債及び10年物価連動債については、市場の状況によっては発行を取り止めることがある。